



今年のおくら
平成31年日立市のさくらは、3月26日に開花し、4月7日に満開となりました。開花から満開までの日数は13日と、過去2番目に長くなりました。今年のおくらには開花までは気温が高い日が多く、開花後は逆に低い日が多くなったため、花の期間が長くなりました。

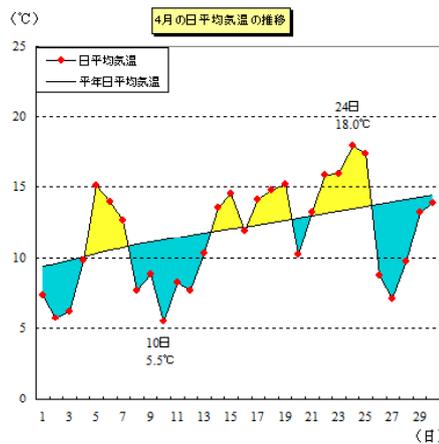


令和元年5月号



4月の気候

4月は、周期的に天気が変わりました。気温は5日ごろと中旬の終わりから下旬のはじめにかけての短い期間に高い日もありましたが、全体的には平年より低い日が多く、平均気温は11.6度と平年より低くなりました。降水量は月合計77ミリと、平年の58%しかなく、逆に、日照時間は、210.2時間と、平年より多くなりました。



1カ月予報(気象庁発表)

5月は、天気は周期的に変わり、前半は晴れの日が多い予想です。気温は「平年並みか高い」予想です。降水量は「平年並みか少なく」日照時間は「平年並みか多い」見込みです。

天気相談所のあゆみ

新元号初日の天気

5月1日に令和元年がはじまりました。初日の天気は、日中曇り、朝までと夕方からは雨で、日降水量は14.5ミリ、気温は最高は20.8度、最低は14.1度でした。日立市天気相談所は、昭和27年開設ですので、平成の初日の天気のみ記録があります。昭和以前は、日立鉾山神峰山観測所の観測記録が明治43年からあり、昭和、大正の初日の天気も知ることができます。大正元年の初日は、1912年7月30日。神峰山山頂では日照はなく、日降水量が11.5ミリ、最低気温は19.5度、最高気温は23.4度、天気の記録はありませんが、雨が降ったようです。昭和元年の初日は1926年12月25日、昼過ぎは曇りましたが、晴れの天気でした。降水はなく、神峰山での最低気温はマイナス6.6度、最高気温も0.2度でした。平成元年の初日は1989年1月8日です。雨の天気、前日からの雨が断続的に16時40分まで続き、降水量は22ミリ、市役所での最高気温は11.7度、最低気温は8.2度でした。

天気の用語の基礎知識

風の強さ②

前回は弱い方から2つ紹介しましたが、今回は強い方の2つを紹介いたします。平均風速が20メートル以上30メートル未満の風を「非常に強い風」といい、時速にすると90kmを越えます。さらに強く30メートルを越える風を「猛烈な風」といいます。これらの風では、走行中のトラックが横転したり、樹木や電柱、ブロック壁が倒壊する恐れがあり、屋外での行動は極めて危険です。

神峰の山から

日本で気象観測所が設置されたのは明治に入ってからであり、150年弱の歴史しかありません。人類の歴史や地球の歴史からしては、ほんの一瞬でしかないかもしれません。しかしながら、毎日観測をつづけることで、天気予報ができるようになったり、防災に役立つようになりました。日立市における気象観測も、約110年前にはじまっており、日本の気象観測のはじまりの頃から行われていたこととなります。今回過去の天気を調べてみて、地道に観測を続けてきたことに、改めて誇らしく思いました。この原稿を書いている10連休の間も、休まず観測を続けています。